

「巻頭特集」

飛躍する東濃実業高等学校

受け継がれる東実の誇り

祝

創立
100周年

地域に求められる人材を数多く輩出してきた
岐阜県立東濃実業高等学校。

今年4月、創立から100周年を迎えました。

柔軟にあり方を変えてきたこれまでの歩みを

振り返りながら、100周年を迎えた

思いや今後の目標を聞きました。



 **フリモAR**®



まずはアプリを
ダウンロード!
左記の二次元コードまたは対応
アプリストアよりダウンロードください。

「勤労 責任 進取 創意」の校訓のもと、地域に学ぶ東実生

生活産業科 / 生活デザイン科



上) 地域の洋菓子店に、地元食材を使用した菓子を提案しました 下) 介護予防体操「夢いろ体操」。昨年はコロナ禍に合わせた「夢いろ足体操」も開発しました

商業科 / ビジネス情報科



上) アプリ開発は御嵩町のプログラミングスクールで行っています 下) 町内の色々なところに足を運び、御嵩町のPR動画を撮影しています

商業科 / ビジネス科



上) ドライブスルーなどを取り入れた販売実習。事前の注文はQRコードで受け付け 下) リバーポートパーク美濃加茂で行った「ソーシャルディスタンス」



東濃実業高等学校
校歌
流れてつきぬ 大木曾の
真澄みの水の 色深し
科学の教え胸に秘め
つとめゆみてとこしえに
幸を開かん われら若人
うたえ 東濃実業高校
伏見ヶ丘の 朝さくら
伝えて清き 花と咲く
自主の誓いの揺るぎなく
心ひとつに 相たすけ
富を興さん われら若人
かおれ 東濃実業高校

築け! ~あずさの伝統、四葉の未来~

農業教育から商業教育へ
時代に合わせた学科改編

岐阜県立東濃実業高等学校の創立は、周囲にまだ見渡す限りの田畑が広がっていた大正10（1921）年。地域の基幹産業であった農業の教育を主体とする、農事講習所として開校したのが始まりです。

戦後は昭和20年代の学校改革や再配置を経て、昭和35（1960）年に岐阜県立東濃実業高等学校として独立。現在の校章である「あずさ」は、このときに制定しました。

その後は地域産業の発展や移り変わりに合わせて、さまざまなかたちで学科を再編。昭和38年には現在の生活産業科/生活デザイン科の前身となる生活科を新設しました。さらに昭和40年の農業科廃止決定を経て、昭和48年には経理科昭和62年には情報処理科を設立するなど、常に時代や地域に求められる人材の育成に力を注いできました。

そして平成17（2005）年にはそれまでの大学科商業科を学科改編し、ビジネス管理科とビジネス情報科が誕生。現在の3学科につながる編成が整いました。

現在は商業科/ビジネス科と商業科/ビジネス情報科、生活産業科/生活デザイン科の3学科制です。

科/生活デザイン科の3学科制です。各科とも1年生で基礎を学び、2年生から科目選択のベースとなる類型を選択。一人ひとりの目標や興味に応じた教育を受けられる体制を整えているだけでなく、地域との関わりに重点を置いていることも特色です。

ビジネス科では、事務処理全般や商品開発、商業簿記など、ビジネスに直結する能力を育成。イベントの企画開催や開発した商品の販売実習などを通して、地域との交流を深めています。

「コロナ禍でも子どもたちを笑顔にしたい」と、昨年10月にはリバーポートパーク美濃加茂でハロウィーンイベントを開催。チェックポイントごとにアルコール消毒をしながらゴールを目指すゲームや、適切な距離を保って踊りを楽しむ「ソーシャルディスタンス」を行いました。さらに、昨年12月から数回にわたって校内のロータリーで販売実習を実施。新型コロナウイルスの感染防止対策として、ドライブスルーとウォークスルー形式を採用しており、今後も定期的に行っていく予定です。

アプリケーションソフトの開発やプログラミングの基礎と応用など、現代の情報社会に合わせた教育を実践しているのがビジネス情報科。毎年、御嵩町に関するアプリを開発して無償提供するなど、地域の観光振興に貢献しています。生活デザイン科では、服飾文化

写真と振り返る100周年



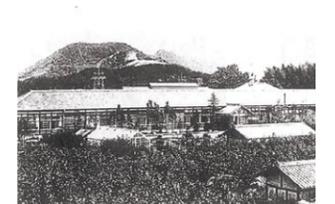
今から50年ほど前、昭和49年11月3日にあった創立50周年記念式典の様子



建設中の新校舎（昭和47年）。第1棟の工事が完了し、新校舎に教室を移動したのは2年後の昭和49年でした



岐阜県立東濃高等学校との統合を経て、昭和35年に東濃実業高等学校が開校。独立を祝う門からは、当時の喜びようが伝わってきます



大正10年4月にあった開校式後、同年12月に第1校舎および第2校舎東部が落成。翌年にはほかの建築物が完成しました



勉学だけでなく、部活動にも熱心な東実の生徒たち。平成5年には、硬式野球部が初の甲子園出場を果たしました

や食文化、福祉看護、保育といった生活産業に関する知識と技術を習得できます。卒業後にそれぞれの分野で活躍できるように、体験学習を重視したカリキュラムを組んでいます。平成23年からは、地域の活性化や交流を目的に、校外でのフアッションショーを毎年実施。平成24年には、御嵩町と合同で介護予防体操「夢いろ体操」を考案しました。

創立100周年を記念した
さまざまな事業を展開

現在は創立100周年の記念事業が着々と進行中。教職員と同窓会、PTAの3者によって設立された創立100周年事業実行委員会が、さまざまな事業を展開しています。

「ウエイトトレーニング用具や校内マット、屋外テントといった学校から求められるもの、そして生徒たちの高校生活に必要なものを中心に整備しています」と話すのは、同窓会長の吉田猛志さん。ほかにも正門の整備や記念植樹などを行い、11月に予定している記

これからも地域の豊かな未来に貢献していきます



第35代校長 片岡潤子先生

八丈島での農業体験実習が一番の思い出です



昭和42年度卒業生 同窓会長 吉田猛志さん

information
岐阜県立
東濃実業高等学校
可児郡御嵩町伏見891
Tel.0574-67-0504



